

報道関係 各位

バイテック情報普及会

植物バイオテクノロジーと農業を学ぶ高校生を応援します
『第4回高校生科学教育大賞』募集開始

バイテック情報普及会は、高校生の農業とバイオテクノロジーの理解促進につながる科学教育活動への支援を行う「第4回高校生科学教育大賞」を、2020年4月30日まで募集します。

バイテック情報普及会は、持続可能な農業の実現や食料の安定供給に貢献するバイオテクノロジーの重要性をご理解いただくための様々な活動を行っております。その一環として、これからを担う高校生の皆様に「持続可能な農業」と「植物バイオテクノロジー」についてより深く学び考えるきっかけとしてもらうことを目的とした「高校生科学教育大賞」を2017年に設立し、支援対象となる科学教育活動を毎年公募しています。最優秀賞または優秀賞に選ばれた学校には、1校当たり100万円を上限とし、申請いただいた活動費用の一部または全額を支援いたします。

第3回の2019年は、最優秀賞の貞静学園高等学校に申請額の全額となる65万円を、特別優秀賞の山形県立村山産業高等学校に申請額の一部となる50万円、他優秀賞の4校に対しそれぞれ申請額の一部を活動費用として支援させていただきました。また、優秀賞に選ばれた福島成蹊高等学校の研究は、同年開催された高校化学グランドコンテストにおいて文部科学大臣賞を受賞するなど、大変嬉しいご報告も頂いております。

第4回目となる本年も、農業とバイオテクノロジーへの理解が促進されるような研究やサイエンスコミュニケーション活動の計画やアイデアをお持ちの高校からのご応募をお待ちしております。もちろん、生徒の皆様自らによる企画・応募も大歓迎です。

【バイテック情報普及会 第4回高校生科学教育大賞 募集概要】

募集対象:	高等学校、高等専門学校における学校行事・部活動等の科学活動。
主 旨:	生徒自身または一般消費者の「持続可能な農業」や「植物バイオテクノロジー」への理解が促進されるような、実現可能で具体的な研究やサイエンスコミュニケーション活動を支援する。 支援活動の例: イベント開催、視察見学、事例研究、調査報告、実験等。(国内外を問わない。)
支援内容:	最優秀賞(1校)、優秀賞(数校)に選ばれた学校に、申請いただいた活動費用の一部または全額を支援する。1校当たり100万円を上限とする。
選 考:	当会会員企業及び下記の外部委員からなる選考委員会において行う。 小泉 望 氏 (大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授) 小島 正美 氏 (食生活ジャーナリストの会 代表) 高島 賢 氏 (農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 審査官)
応募方法:	当会ウェブサイトより指定の申込書をダウンロードし、活動計画及び支援金の使用方法等を記載の上、メール添付にて提出。
応募締切:	2020年4月30日(木) 23:59まで

申込書及び本大賞の詳細は以下ウェブサイトをご覧ください。

<https://cbijapan.com/education/>

【本件に関するお問い合わせ先】

バイテック情報普及会 事務局

電話: 03-3525-4805

メール: secretariat@cbijapan.com

以上

※バイテック情報普及会(英名: Council for Biotechnology Information Japan, CBI Japan)は、植物科学やバイテック作物の開発企業で構成する国際組織「クロップライフ・インターナショナル(本部ブリュッセル)」傘下の任意団体で、2001年10月1日に設立されました。会員企業: シンジェンタジャパン株式会社、ダウ・アグロサイエンス日本株式会社、デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社、バイエル クロップサイエンス株式会社、BASF ジャパン株式会社(50音順)